

忍ヶ丘から花博記念公園へ (第83回くらわん会 2003/05/06)

風薫る五月というのに、前日の枚方市は最高気温 32 度を越え一気に夏日になったが、今日は曇りがちで歩くにはまずまずの気候になった。忍ヶ丘駅前に集まった会員は 140 名、楠公ゆかりの里から鶴見の花博記念公園まで汗をぬぐいながらの歩行になった。

駅前から西へ 200 ～ 300 m ばかり行った標高 35 m の小高い丘の上にある忍陵（にんりょう）神社をたずねた。この神社は、東方の赤山にあった 1200 年前建立の津鉾神社が江戸時代に移設され、明治の末に馬守神社、大將軍社を合祀し、忍陵神社となったらしい。

昭和 9 年の第 1 室戸台風で神社が倒壊し、昭和 10 年 4 月拝殿整地中に竪穴式石室が発見された。石室内からの出土遺物や石室・古墳の形から、枚方市の万年寺山古墳などと同じ古墳時代前期につくられたと推定されている。北向の前方後円墳で全長 87 m、後円部径 45 m、高さ 6 m の忍岡古墳の後円部に忍陵神社が建っている。

また、この小高い丘は、近世、夏の陣で、2 代將軍徳川秀忠が本陣を設営し勝利したので、御勝山（おかちやま）ともよばれている。

丘を下って岡部川沿いの四条畷ウォーキングコース遊歩道を快適に進む。170 号線（外環状）を越えて蔀屋新町から寝屋川市に入ると、讚良川と寝屋川の合流地点に南寝屋川公園がある。大きなポプラ並木のある公園で水分補給の小休止、さすがにじっとりと汗ばんでくる。

さらに寝屋川沿いを 163 号線を越えて、川面を悠々と泳ぐ大きな鯉の群れを眺めながら、南寝屋川高校の手前で橋を渡ると、門真市の東端にある弁天池公園に到着した。

古代には河内湾が巨大な淡水の河内湖になり、さらに深野池（ふこのいけ）、江戸時代には千石沼となってその痕跡を残すのみとなっていたようで、こうした池や沼も大和川付け替え以降の大規模な新田開発によって陸地になって、今は公園の池として、かろうじて残っている。

例の朝会
JR 忍ヶ丘駅前に百四十名が集合し恒



の
小高い丘の上にある忍陵神社
駅前より西へ二百〜三百米の標高35m



古墳時代前期の後円墳から竪穴式石室
が発見された忍陵神社



岡部川沿いの四条畷ウォーキングコース
遊歩道を快適に進む





讚良川と寝屋川の合流地点にある南寝屋川公園で水分補給の小休止



悠然と大きな鯉が泳ぐ寝屋川沿いを一六三号線を越えて進む



古代の河内湖のなごりでわずかに残る弁天池、環流ビオトロンで水質浄化



生駒山や飯盛山への眺望が楽しめる弁天池公園の芝生広場で昼食

弁天池の名前は、巖島の弁財天を祀った弁財天堂があることから名付けられ、汲んでも汲んでも枯れない池という民話が残っている。公園の南部には昔のなごりを残すバツタリ（水路の水位を調整するもの）があり、池の水は微生物環流浄化工法（環流ビオトロン）で浄化されている。

池を中心にした広い公園には、ケヤキを施した噴水やバラの花壇で彩られたエントランス・シンボル広場、生駒山や飯盛山への眺望が楽しめる芝生広場と野外ステージ、水遊び、吊り橋渡り、岩山のぼり、トンネルくぐり等ができるワンパクランド、池に浮かぶあずまやなどがある風情のある公園で、ここでゆっくりと昼食を摂った。

公園を出て門真の新興工業団地の中を抜けると、門真団地に出る。団地の西側の北島には、門真運動広場があり野球場や多目的広場などがあった。ここの管理棟をお借りしてトイレ休憩をとった。団地の南側の上八箇荘水路には200本を超えるソメイヨシノが植えられており、季節には三枚板（川船）で桜のトンネルを優雅にくぐるのどかな昔日の面影が残っている。この水路脇の小径を三ツ島に向かってゆくと、もう残り少なくなった、門真の蓮根畑が残っていた。

三ツ島の中心にある三島神社は、楠木正成の子、正儀の次男である正澄が、楠木氏遺族への幕府の追求が激しくなったため、現門真市三ツ島に身を隠していたころ、楠木家が崇拝する山王権現をまつって氏神としたものだ。元は山王社と呼ばれ、祭神は天照大神、素戔鳴尊、大己貴命（山王権現）で、明治三年に現在の社名に改めた。本殿前には、門真市の象徴（市の木）大楠、“薫蓋樟（くんがいしょう）”が大幹をのばしている。樹齢千年以上と推定され、近畿一を誇るこの樟は、幹周り12.5m、高さ30mの巨樹で昭和13年に国の天然記念物に指定されている。千年を越えているとは思えない、輝くような若葉が社を包み込んでいました。

村はずれの三ツ島公園迄行くと、目の前になみはやドームが迫ります。この公園には一休禪師母堂の墓があります。ここから中央環状線の大

歩道橋を渡ると、もう鶴見新山は目の前ですが、花博記念公園までには一汗かく距離が残っていました。ようやく記念公園のメタセコイヤの大木と花壇の植え込みの見事な中央口に到着し、本日の例会を解散しました。ここからは地下鉄、バスなどで帰宅しましたが、元気な会員の皆さんは、さらに守口市駅まで足をのばしていました。

富田朝己記



門真市北島運動広場の管理棟を借りて小休止



三島神社は、楠木正成の子、正儀の次男である正澄が、楠木家が崇拝する山王権現を祀って氏神とした



中央環状線の大歩道橋を渡ると、もう鶴見新山は目の前、花博記念公園までには一汗かく距離が残っていた

千石西町の門真団地の東を抜けて運動広場へ



北島の運動広場から上八箇荘水路沿いを行くと昔の門真の面影が残る



樹齢千年を超える天然記念物の薫蓋樟に若葉が光る



花いっぱいの花博記念公園で本日の例会は解散





<行程>

J R忍ヶ丘駅⇒忍陵神社⇒岡部川遊歩道⇒南寝屋川公園⇒寝屋川沿い⇒弁天池公園⇒門真団地⇒北島運動広場⇒三島神社⇒なみはやドーム⇒花博記念公園 約 10km

2003年05月06日(火) 第83回例会 140名参加